

地域の皆さんへ

千鳥学区公民会
会長

小学校の統廃合について

ただいま、小学校の児童数の減少に伴い、教育委員会が柴田、白水、千鳥の3校を、白水小学校に統合する計画を推し進めております。

既に、概要は全戸配布され、これに対する意見を求め、集計したものを別途各町内に廻覧したところですが、まだ、決定したわけではありません。

千鳥学区といたしましては、教育委員会の地域住民を無視した、一方的な計画案を、そのまま素直に受け入れるわけにはできませんので、この統合案には反対していきたいと思っております。

1 反対事由等

- (1) 昨今の温暖化により、真夏日が6月から11月と、半年ほど続きますが、子供たちは、昔からのランドセルの他に、タブレットや水筒を持って、これまで以上の重量を背負い、かつ、これまで以上の距離を歩いて通学しなければならず、しかたがないと、あきらめがつくのでしょうか。
- (2) 3学区の8割近くが、鶴見通の南側に居住し、毎日この鶴見通を越えて通学することに、安全面で不安はないのでしょうか。鶴見通は信号の流れの中で、学区内で最もスピードが出やすく危険で、千鳥学区では唯一交通指導員を配置している道路であります。
- (3) 小規模校が悪いように教育委員会は主張しますが、一人一人に目が行き届き、きめ細かい教育が受けられ、利点が非常に多く、一方、小規模校の問題点として掲げている項目は、統廃合したからと言って、例えば、いじめ問題等が解決できるわけでもなく、別の取組が必要であります。
- (4) 仮に3校の統廃合を受け入れたとして、新設される校舎が、なぜ白水小学校なのか、合理的な理由が見つかりません。また、2校にした場合、新校舎は造らないという主張は、白水小学校に誘導しているように思えます。統廃合するならば、2校の方がより現実的に思えます。
- (5) 理想の姿は、名南中学校に高層ビルを建て、最上階に防災センター機能を持った避難所を設置し、小中一貫校に統合することであります。小中一貫校にすると、大規模校になり、その運営が難しいと言われますが、高々900人、団塊の世代からすると、半分以下の生徒数であります。

2 今後の取組

- (1) 結論ありきの統廃合計画ではなく、教育委員会との話し合いの中で、只説明するだけで、少しも歩み寄りがないならば、白水小学校に統合するという案に、反対するという署名活動に入りたいと思っております。
- (2) 千鳥学区は、千鳥小学校、名南中学校を中心とした、文教学区であり、また、社会館、南生協病院を中心とした福祉学区でもあります。こうした、環境の整った学区から、小学校をなくしたくありません。今後とも引き続き、何のメリットもない、この統合案に反対していきます。